



2020～21年度
国際ロータリー会長
ホルガー・クナーク

Weekly Report Niigata



国際ロータリー
2020～21 年度テーマ
ロータリーは機会の扉を開く



2020～21 年度
新潟ロータリークラブ会長
高橋 秀松

新潟 RC 9 月第 1 例会 (2020.9.1) (書面例会併催) No.3334

(1) 「君が代」

ロータリーソング「奉仕の理想」CD

(2) 高橋 秀松会長挨拶

私、ロータリークラブの職業分類では石油関連製品配布となっておりますが、それとは別に「社会福祉法人新潟市社会事業協会」の5代目理事長として、その運営を担っております。

今日は、少し時間を頂戴して、当協会について、医療 介護 保育を取り巻く環境についてお話をさせていただきます。

まず、当協会の歴史であります。大正末期、昭和初期の方面委員(現在の民生児童委員)活動に源を発し、昭和3年3月に「新潟市社会事業助成会」の名称で組織化したのが、スタートです。昭和6年には「有明松風園(信楽園病院の前身)」を設立し、収容定員10名の軽い結核患者の療養所として開園しました。その翌年昭和7年には、セッルメント事業(日本では隣保事業)救貧事業を開始し、子供たちに読み書きそろばんを教えるなどの事業を開始いたしました。今現在では隣保館こども園となっています。昭和42年には県内初の特別養護老人施設「松風園」を開設いたしました。昭和51年には「有明福祉タウン」として落成式を迎えることができました。

本年で93年目を迎えることができました。この間、太平洋戦争や新潟地震など大きな試練がありましたが、先人たちの英知と努力、そして市民の皆さんの献身的な善意により、それらを乗り越えることができました。その後も、多方面にわたる社会福祉事業の推進母体としての、その役割を果たしてこられた、と思っています。

人口の推移が医療、福祉に及ぼす影響です。

近年、医療、福祉を取り巻く社会経済環境は目まぐるしく変化してきており、社会保障制度も毎年のように見直しが行われております。

その変化の中でも、最も大きい影響を及ぼしているのは、人口問題だと思います。前回2010年度の大規模な国勢調査の結果に基づく「人口の推移と将来推計」の表で説明させていただきます。10年ほど前の数値ですが、当時の見込みのとおおり、概ね推移してきています。ポイントとしては、総人口が2010年の1億2,806万人をピークに、以降は減少すること2010年から

2025年までの推移をみると、65歳以上の高齢人口は、約709万人増加し、内訳としては紫色の、75歳以上の後期高齢人口は、約759万人増加、逆に、65歳から74歳までの緑色前期高齢人口は、約50万人減少となっています。一方、15歳から64歳までの生産年齢人口は約1,089万人減少、14歳以下の年少人口は約360万人減少する見通しとなっています。

さらに、2010年度から2060年度までの長期スパンで推移をみると、高齢人口65歳以上は約516万人増加、内訳としては、後期高齢人口は約917万人増加に対し、前期高齢人口は約401万人減少と推計されています。一方、生産年齢人口は約3,756万人減少、年少人口は約893万人減少する見通しとなっています。

人口の推移が及ぼす影響として、様々なことが指摘されています。医療、福祉分野の一例ということで説明させていただきます。

まず、医療面では、医療技術の進歩により、急性期治療が徐々に改善される一方で、高齢人口の増加に伴い、生活習慣病などの治療を中心とする慢性期医療の需要が高まり続けていくと言われています。また、団塊の世代が85歳に達する2035年度までは、医療ニーズが膨らみ続けますが、その後、徐々に減っていくとも予想されています。

介護については、後期高齢人口(75歳以上)の大幅な増加により、介護ニーズの増加傾向は続き、特に、要介護度3(立ち上がりや歩行が困難で日常生活全般に全介助が必要。また認知症の症状があり、日常生活に影響がある状態)私が思うには、車いすのは、まだらボケ状態以上の方の伸びが大きいと言われています。この傾向に伴い、介護費用は急激な増加が見込まれます、介護保険制度の安定的な運営が課題となっております。

保育については、子どもの人口が長期間にわたり、減少の一端をたどってきましたが、妻の就業率の高まりにより、保育ニーズは増え続けてきました。「保育園落ちた日本死ね」2018年にはそんなブログが出ました。しかし、今後は、子化の影響が確実に生じ、保育園と幼稚園を合わせた保育ニーズ全体は、減少するという予測もあります。地域にもよりますが、園児確保のための競争激化が懸念されます。

生産年齢人口の大幅な減少は、社会全体において、必要な労働力の確保が困難なことを示しています。医療、福祉の現場では、現在でも、医師、看護師、介護士、保育士などの確保が常時厳しい状況にあり、今後さらに、深刻化するの、間違いのないと思います。

特に、先ほど申し上げました、後期高齢人口の大幅な増加が見込まれる中で、介護職員については、介護保険制度がスタートした2000年度には、54万9千人でしたが、2016年度には、183万3千人に増加しているとは言え、決して需要を満たしている状況ではありません。

2018年度からの第7期介護保険事業計画を基に、「将来必要となる介護職員」の数を推計すると、2020年度本年には約216万人必要で26万人不足、2025年度には約245万人必要で55万人不足としており、国を挙げて、介護職に対する処遇改善、外国人材の受け入れなどの対策を進めていますが、なかなか、介護職員不足が解消できない状況です。

以上のように、医療、福祉を取り巻く環境、厳しいものがあり、しかも、国の将来展望も不透明な状況にあります。特に直近ではコロナ禍の及ぼす影響が人材不足や経営環境に更に暗い影を落としています。

私は、協会を、運営をする当事者として、発足当時のモットーであります「隣保相愛」「相互扶助」「地域と供に」の精神を忘れることなく、先人たちが様々な苦難を克服して築いてきた歴史と伝統のある当協会のために、力を尽くしてまいりたいと思っております。皆様方におかれましては、医療 介護 保育をはじめとした福祉に対しまして、興味と関心をもって頂きご指導ご支援を、お願いいたします。ありがとうございました。

(3) 米山奨学生紹介・挨拶

チュウ シュン ジェイさん 奨学金贈呈
(2ヶ月分)

(4) 100%出席バッチの贈呈(河西弘太郎委員)

佐藤 善昭君 1年

(5) 誕生日お祝い贈呈(9名)

(6) 結婚記念日お祝いの紹介(6名)

(7) 委員会報告

- ・秋山会計より前年度会計報告
- ・敦井 栄一監査役より監査報告

～*～ 全員拍手をもって 承認 ～*～

・塚田 正幸 RA 委員長報告

新潟ローターアクトクラブは1970年9月1日に創立され、今日で丁度50周年を迎えました。創立の前年度の小川種太郎会長や伊藤辰治バスターガバナー(新潟RC)の熱意で、設立に向け大谷正雄ローターアクト委員長や多くの会員の協力を得て、新潟県内で最初にローターアクトクラブが誕生しました(田中堅太郎会長年度)。

発足時のローターアクト会員は21名でしたが、ロータリアン企業からの会員や当時の新潟市の主だった企業、また一般の方もいました。過去の会員名簿を見ると勤務先に北陸瓦斯、大谷商会、第四銀行、新潟信用金庫、新潟第一建設工業、丸新、高助、コバリキ、田村紙商事などが記されています。今年度50周年を迎えるにあたり、9月27日(日)に創立50周年記念式典を開催予定でしたが新型コロナウイルス感染禍で残念ながら中止になりました。今日の理事会で永年に亘りローターアクト会員を継続して推薦してきた北陸瓦斯(株)、新潟信用金庫の2社に新潟RCから感謝の気持ちを込めて表彰状を贈ることが承認されました。

(8) 各種ご寄付の発表

米山奨学会寄付発表(安藤 栄寿委員長)

宇尾野 隆君 田村貫次郎君

徳永 昭輝君

青少年育成基金寄付発表(樋熊 紀雄委員長)

塚田 正幸君 小飯田 澄雄君

本多 晃君 樋熊 紀雄君

(9) ニコニコボックス紹介(田中 孝佳委員)

・塚田 正幸君 今日9月1日は新潟ローターアクトクラブの創立50周年の日です。地区内で一番早く創立した新潟ローターアクトクラブが皆さんの協力のお陰で50年続いた事に感謝します。

・小説家 阿佐田 哲也 バースデーワインと掛けてオヤジ秘伝の「七対子」と解く、その心は「ニコニコ」本心は「ニヤニヤ」

(10) 表彰

・高橋 康隆さんへ米山功労者第15回メジャードナー感謝状贈呈

(11) 幹事報告(佐藤 邦栄)

・例会終了後、歴代会長会を5階「ジェノバ」で開催致します。

・理事会議事録に記載した議事2項、4項について説明

9月15日の例会予定

(株)塚田牛乳 代表取締役社長 塚田 正幸君

「乳は農産物だ」

新潟県信用農業協同組合連合会

代表理事専務 梅澤 哲雄君

「二度あることは三度ある」

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>

9月1日 理事会報告 出席者14名

- 1 2019-20年度決算報告 =承認
秋山会計より別紙決算表及び特別会計決算表の説明
- 2 塚田正幸RA委員長より提案 =承認
RA50周年を記念して、永年の功績を称え、北陸瓦斯様と新潟信用金庫様に対して感謝状を付与する。時期については、理事会に一任する。
- 3 入会推薦の件 =承認
・(株)NST新潟放送テレビ
代表取締役社長 酒井 昌彦君
- 4 例会の持ち方（外部講師等の招聘について） =承認
佐藤幹事より説明
新型コロナウイルスの感染拡大が収まりつつある状況を踏まえ、また、例会における学びの提供の観点から、今月より外部講師を招聘し卓和を開催することとする。
- 5 9月のプログラム =承認
佐藤幹事より説明
9月1日 卓話無し
9月8日 卓話 新潟大学
ドナルドマクドナルドハウス新潟誘致活動について
新潟大学医歯学総合病院長 富田 善彦先生
(山田年度青少年育成基金贈呈先)
9月15日 会員スピーチ
新潟県信用農業協同組合連合会
代表理事専務 梅澤 哲雄君
(株)塚田牛乳 塚田 正幸君
9月22日 祝日で例会なし
9月29日 2019～20年度長期派遣学生
佐藤 花与さん
- 6 その他
・宇尾野 隆ガバナー補佐よりIM開催について
本年度は、新型コロナの感染拡大防止を考慮に入れ、規模を縮小して行う。具体的には、各クラブ6名の参加に限定し、懇親会は行わない。